

各領域の戦略

| 領域 | 2023年度の目標 | 2023年度の実績 |
|------------------------------------|--|--|
| 1. 教育 | | |
| ① 3つのポリシーとコンピテンシーの実質化 | 1) 教育WSの開催(1回)と次年度カリキュラムの検討 2) カリキュラム研修WSの実施計画 3) 試験問題作成WSの開催(2023/5) 4) 各種FD(歯科医学教育セミナー(7回)、教員オンラインテスト(4回)等)の開催 5) リサーチマインド養成のためのカリキュラム推進や卒業論文奨励 6) 教育成果に関する第三者評価の実施 7) 共用試験公的化に向けた準備 | 1) 教育WSの開催(9/13に実施)と次年度カリキュラムの検討 2) カリキュラム研修WSの実施(9/9～9/10に実施) 3) 試験問題作成WSの開催(5/27に実施) 4) 各種FD(歯科医学教育セミナー(7回)、教員オンラインテスト(2回))の開催 6) 教育成果に関する第三者評価の実施 7) 共用試験公的化に向けた各種試験における実施責任者・評価者養成WS受講、模擬患者養成にかかる協力体制の構築、課題実施に向けた環境整備 |
| ② 入試制度の見直し | 1) 入試制度について検討を継続 | 1) 入試検討委員会による検討実施(6/26に実施) |
| ③ 高大接続教育の充実 | 1) 糸魚川市との包括的連携に関する協議会の開催(2回) * 5/23 緑が丘学院高等学校 平田幸夫校長来訪 | 1) 糸魚川市との包括的連携に関する協議会の開催(8/1に実施) 糸魚川白嶺高校への出前授業実施(9/21に対面にて実施) |
| ④ 国際コミュニケーション力の育成 | 1) 英語 I、II、IIIの実施 2) 各専門教科における英語教育の充実の検討 | 1) 英語 I、II、IIIの実施 2) 各専門教科における英語教育の充実の検討 |
| ⑤ 歯科界のリーダーとなるためのキャリアパスの構築 | 1) 卒業生アンケートの実施 2) キャリア支援教育の充実(3年生学外セミナー) | 1) 卒業生アンケートの実施 2) キャリア支援教育の充実(3年生学外セミナー(9/27～28)の実施) |
| ⑥ 大学院教育の高度化と国際化に基づく研究人材育成 | 1) 大学院セミナー等で、学振や申請に関する内容についての研修を実施 2) 「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」に基づく大学院コースワークを策定 | 1) 11月13日に「日本学術振興会特別研究員に関する大学院セミナー」を実施した。 2) 「がんプロフェッショナル養成プラン正規課程3コース」を策定し、歯科医学教育セミナー(2月28日)、7大学連携キックオフシンポジウム(3月3日)においても提示した。 |
| ⑦ 学生の生活支援の充実 | 1) 医務室の運用状況を見つつ必要な改善を実施 2) 学生相談室の相談員と利用者からのフィードバックを受けて運営上の問題点を抽出し、利用者の利用環境を改善 3) 学年代表者との懇談会において学生から要望のあった事項について、実施できるものから実施すると同時に、継続的に会を実施し、学生の意見を聴取 | 1) 医務室:場所を選定し必要な備品を配置した。 2) こころの相談室:学生に浸透し利用者増に繋がった。 3) 学年代表意見交換会:代表学生からの意見を集約し、対応の可否について検討した。また、全学生に対して学生生活実態調査を実施した。 |
| ⑧ 生涯教育 | 1) 同窓会主催のTDCアカデミアへの協力 2) 同窓会との共催によるリカレント教育セミナーの実施 | 1) 同窓会主催のTDCアカデミア2023の実施 2) 同窓会との共催によるリカレント教育セミナーの実施 |
| 2. 研究 | | |
| ① 口腔科学研究センターを中心とした研究の集約化と研究支援体制の充実 | 1) 新たにウェルビーイングプロジェクトを発足させ、更に研究体制の充実を図る 東歯学会におけるシンポジウム、口腔科学研究センターWSの企画 2) 学内の研究費に頼らないプロジェクトの育成 | 1) ウェルビーイングプロジェクトの推進 2) 2023年度口腔科学研究センターワークショップの開催(2024/2/22) |
| ② 研究における学内外の連携体制の強化 | 1) 大学間連携等による共同研究等による共同研究の促進。 2) 共有機器の学外との共同利用の可能性について検討する。 | 1) 学内外における共同研究の支援 |
| ③ 研究成果に基づく知財創出と産学官連携推進のための体制構築 | 1) 知財関連の規約の改定 2) 知財関連部署設置(または担当職員配置)のための準備 | 1) 知財創出と産学官連携推進のための体制構築 |
| 3. 国際化 | | |
| ① 教員と学生の国際交流の推進 | 1) 姉妹校、学術協力協定校との連携強化 2) Elective study計画 3) 他大学との姉妹校協定または学術協力協定締結へ向けての準備 (候補大学:North Carolina大学Chapel Hill校、University of South Californiaなど) | 1) 姉妹校、学術協力協定校との連携強化 2) Elective studyの実施と新たに海外研修を実施 3) 他大学との姉妹校協定または学術協力協定締結へ向けての準備 (候補大学:North Carolina大学Chapel Hill校、University of South Californiaなど) |

各領域の戦略

| 領域 | 2023年度の目標 | 2023年度の実績 |
|--------------------------------|--|---|
| 4. 医療 | | |
| ① 高品質の医療提供 | 1) 水道橋病院における医療DXの積極的な活用を推進(医療系システムの充実) 2) 市川総合病院薬物療法室の整備 3) 市川総合病院の病床数削減による効率的な医療提供体制の再構築 | 1) 水道橋病院における新医療系システムの構築案作成 2) 医療安全及び患者サービスの観点から薬物療法室を設置し、2023年9月から運用を開始した。 3) 2024年2月より従来の570床より511床へ病床を削減し、より効率的な病床運営を行う。 |
| ② 附属医療機関を中核とした病病・病診連携体制の強化 | 1) 病診・病病連携の充実(医療連携報告会の対面での開催) 2) 地域医療支援病院としての役割推進(地域のクリニック・病院からの紹介および救急患者の応需率の改善) | 1) 水道橋病院における医療連携報告会(対面)の開催 2) 近隣の医療機関からの紹介患者に関しては、患者数の受け入れ制限をせず、積極的に受け入れる。 |
| ③ 臨床研究の推進 | 1) 臨床研究の推進とともに、不適切な研究が実施されないよう自己チェック体制の整備(市病用のチェック・シートの作成を含む) | 1) 臨床研究の推進とともに、不適切な研究が実施されないよう倫理研修会の開催 |
| ④ 建学の精神を具現化する歯科界のリーダーとなる医療人材育成 | 1) 3施設の特徴を有した臨床研修プログラムおよび医局員研修プログラムの充実 2) 協力型臨床研修施設に対する管理の徹底と質の充実 3) 各学会認定医・専門医・指導医等の資格取得のための支援体制の充実 | 1) 3施設の特徴を有した臨床研修プログラムおよび医局員研修プログラムの策定 2) 協力型臨床研修施設に対する徹底した管理の実施 3) 各学会認定医・専門医・指導医等の資格取得のための支援体制の構築 |
| 5. 社会貢献 | | |
| ① 知財創出と産学官連携推進のための体制構築 | 1) 知財関連の規約の改定 2) 知財関連部署設立のための準備 3) 企業との共同研究費について産学連携費等の徴収について検討する。 | 1) 知財創出と産学官連携推進のための体制構築 |
| ② 地域連携 | 1) 千代田区との連携事業の実施(ちよだ環境まつり、市民公開講座、図書館連携等) | 1) 千代田区との間で、ちよだ環境まつり出展、区民公開講座開催、図書館連携、認知症サポート大学認証等、連携の成果が上がった。 |
| ③ 公的機関の審議会等における発信力の強化 | 1) 公的機関の審議会等における委員就任のための支援 2) 公的機関の審議会の委員や学会の役員などの就任状況の把握 | 1) 公的機関の審議会等における委員就任のための支援 2) 公的機関の審議会の委員や学会の役員などの就任状況の把握 |
| 6. 教学マネジメントとガバナンス | | |
| ① 迅速かつ適切な意思決定の仕組み | 1) 法人と大学との連携を強化するための定期的な会議体の設置 | 1) 法人と大学との部門別打合せを実施し連携を強化 |
| ② 効率的かつ柔軟な人材配置 | 1) 法人との連携による適切な人材配置 2) 職員の評価の策定 | 1) 大学内関係各所の状況を鑑みながらの人材配置 2) 事務職員「目標管理・自己点検評価」のトライアル実施 |
| ③ FDとSDの推進 | 1) FDの実施 2) SDの実施 | 1) FDの実施: 歯科医学教育セミナー等の開催等 2) SDの実施: 多数(私大連研修への参加、SDセミナー開催等) |
| ④ 教職員の評価 | 1) 学生による授業評価の実施 2) 活動目標設定に基づく上司による教員評価の実施 3) 職員評価トライアル | 1) 教育職員の再任・昇任時における審査及び評価に関する規程の改正 2) 事務職員「目標管理・自己点検評価」のトライアル実施 |
| ⑤ 教育研究環境の整備 | 1) 臨床基礎実習室(新館10階)の整備 | 1) デジタルデンティストリーを見据えた臨床基礎実習室整備計画の構築 |
| ⑥ ICTの強化と情報security | 1) 新たな情報システム関連規程の策定など、一層の管理統制と強固な情報セキュリティ体制を構築するための見直し 2) 情報セキュリティインシデント発生時の対応を行う組織としてCSIRT(Computer Security Incident Response Team)の設置を検討 3) 医療機関を標的にしたランサムウェアへの対応として、附属施設(病院)と連携した医療情報システム用VPN(Virtual Private Network)装置の脆弱性への対応(最新ソフトウェアへのアップデート) | 1) 新たな情報システム関連規程の策定など、一層の管理統制と強固な情報セキュリティ体制を構築するための見直し 2) 勤怠システムを中心とした基幹業務DX化の推進 3) VR等の動画データ転送を考慮した教育学術無線ネットワークの構築とそれに対応したキャンパスネットワークの最適化の実施 4) 医療機関を標的にしたランサムウェアへの対応として、附属施設(病院)と連携した医療情報システム用VPN(Virtual Private Network)装置の脆弱性への対応(最新ソフトウェアへのアップデート) |
| ⑦ 将来計画 | 1) 法人による中期計画の策定と計画実施および進捗状況評価 | 1) 法人による中期計画の策定と計画実施および進捗状況評価 |